

図書館報

聖隷クリストファー大学

第7号 2009.3

- | | |
|--|-----------------------------|
| ・「ヤマタノオロチ」から「アクションリサーチ」まで
(宮前 珠子).....1-2 | ・古本屋巡りで思うこと(上島 卿一郎).....3-4 |
| ・「障害者の権利条約」の発効(山本 誠).....2-3 | ・電子ジャーナルの利用方法.....5-8 |

「ヤマタノオロチ」から「アクションリサーチ」まで

リハビリテーション学部 教授 宮前 珠子

私の記憶に残っているはじめてのものがたりは「ヤマタノオロチ」だ。いくつくらいだったかわからないが、夏の夜サマータイムでまだ薄明かりの残った8時頃、奈良の田舎の大きな家、8畳間につつた緑の蚊帳の中で祖父が私たちを寝付かせるために「ヤマタノオロチ」のはなしをしてくれた。祖父の話はいつも「ヤマタノオロチ」だったがいつ聞いてもおもしろくどきどきしながらおなじみになったクライマックスを待ちわびた。

次の記憶は「月夜のでんしんばしら」。やはり寝がけに母が読んでくれた話。終戦直後のまだあまり本のないような時代にどこからか母が買ってきた宮沢賢治の作品集。ストーリーはあったのかなかったのか、とにかく、「ドッテドッテ、ドッテド、でんしんばしらのぐんたいは...」という調子の良い詩のくんだりへくると声を合わせて一緒に唱えたのだった。そして「注文の多い料理店」だ。これはなんともへんに面白いのか面白くないのかわからないような不思議な話だった。これも何回も繰り返し聞いたから、きっと母が好きな話だったのではないかと思う。母はちょっとかわったひとなので。ほかにもきつといういろいろ聞いたのだろうが、この3つだけが幼児期の記憶として残っている。

小学校時代、まだテレビもない時代だから、そのころの遊

びは石けり、缶けり、かくれんぼ、なわとび、セミ取り、ソリ滑り、電車ごっこに、ソフトボールに、模型作り、トランプ、百人一首、あとはラジオと本。ラジオは毎夕ラジオに耳くっつけるように「笛吹童子」を聞いていた。「二十の扉」と「話の泉」も面白かった。

本もあまりない時代だったが、講談社世界少年少女名作集というようなものがあり、「小公女」「小公子」「アルプスの少女」「三銃士」「十五少年漂流記」をやはり繰り返し読んでいた。中でも「十五少年漂流記」が一番好きで、十五人の少年が漂流して無人島にたどり着き、仲間割れやいがみ合いをしながらも身の回りにあるものを工夫し、あざらしなども捕まえて様々なものを作り出し生活していく話が何回読んでも面白く、没頭した。しかし、長じてからあるときこの本を見かけて読んでみたらほとんど何の感興もなかったの、本というのはやはり年代にあうものがあるのだなあと感じた次第ではある。中学の入試面接で「どんな本を読んでいますか」と聞かれて、上記の本をあげたら「外国のものばかりですね」と言われたので「宮本武蔵なら読みました」と答えたこともあった。

「次郎物語」に感動したのは中学時代か。高校時代はどんな本を読んでいたかまるで記憶にない。大学時代からは

いつ頃読んだのかだんだんわからなくなる。

その後感動した本、面白かった本、印象に残る本などを羅列すると、ロマン・ロラン「魅せられたる魂」「ジャン・クリストフ」、サンテグジュペリ「夜間飛行」、夏目漱石「こころ」など、曾野綾子「神の汚れた手」など、「シュヴァイツァー自伝・全集」、「中野重治詩集」、ニーチェ「ツァラツストラはかく語りき」、サルトル「存在と無」、哲学がスイスイとわかる時代があった。今は行きつ戻りつなかなか読めない。司馬遼太郎「竜馬がゆく」はめっほう面白い、川上弘美「神様」は不思議なおもしろい本でこの人のものは全部読みたいくなる、ウンベルト・エーコ「薔薇の名前」は大変緻密な小説、遙洋子「東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ」、最近ラジオを聞いて、天童荒太「悼む人」を買ったら昨日(1/15)直木賞を受賞した。そのほか本はいろいろ買うが読まないまま積んであるのが多い。「つんどく」である。

読んでいるのは読まなければならない専門書、実用書が多い。KJ法は30年前と40年前に講習会に出て今も私にとって必要不可欠なものなのだが、本は、川喜田二郎「発想法」「続・発想法」である。

ここ15年ばかり、作業療法の世界ではパラダイムの変換が起こっているが、その考え方の基礎となるものとして、トーマス・クーン「科学革命の構造」、ベルタランフィ「一般システム理論」、チェックランド「新しいシステムアプローチ」「ソフトシステムズアプローチ」、チクセントミハイ「楽しみの社会学」、矢野眞和「生活時間の社会学」、箕浦康子「フィールドワー

クの技法と実際—マイクロエスノグラフィ入門—」、竹田青嗣「現象学入門」、マツラーナ「オートポイエーシス」、西條剛央「構造構成主義とは何か」などが考えられる。

そして20世紀最後に相次いで出された作業療法の理論本、キールホフナー「人間作業モデル」「作業療法の理論」、カナダ作業療法士協会「作業療法の視点」、ロー「クライアント中心の作業療法」、ゼムケ他「作業科学」は、還元主義を越えて、新しい作業の統合パラダイムの時代をもたらした。

作業はその構成要素が複雑であるが故に、作業が人間の健康にどのように寄与するか、人間にとって作業がどのような意味を持つかを解明するのはなかなか困難であるのだが、その解明法、研究法の参考にするために、大学院作業科学研究室では様々な本を取り上げて読んでいる。現在は、内山研一「現場の学としてのアクションリサーチ」を読み、ディスカッションし、「違いを認めあって協力するという『アコモデーション』」の概念を意識することが、専門職連携に新たな地平を開くものになるのではないかという可能性を感じている。

最後に、私が図書館をもっとも利用したのは1974年から1976年まで修士課程にいたコロラド州立大学である。欲しい資料は殆ど何でも手に入る広大な図書館に毎日通っていた。キャレルに座っていると何時間も集中できた。だから私は図書館の勉強机は全てキャレルにできれば良いと考えている。

「障害者の権利条約」の発効

社会福祉学部 教授 山本 誠

2008年5月3日、ついに「障害者の権利条約」が発効しました。この条約は、2006年12月13日に国連において採択がなされたものですが、遡れば2001年12月に国連総会において特別委員会が設置され、その議論が開始されたのです。21世紀最初の主要人権条約として、今世界が注目している条約といっても良いのではないかと思います。

本学の学生たちは、看護・リハビリ・社会福祉の専門職になることを目指しています。その学びの中で、また卒業後に仕事をしていく中で、障害のある人と出会う機会は

少なくありません。ここでは「障害者の権利条約」を紹介しつつ、ぜひ関心を持って欲しい、そのような書籍・論文に出会って欲しい、改めて「障害者」とはどのような人なのかを考えてもらいたいという願いを込めて述べていきたいと思えます。

国際的な条約には、さまざまなものがありますが、その中で人権を扱う条約は7つあるといわれています。第二次世界大戦後の1948年に、国連は二度と戦争が起こらないように、世界に平和が訪れることを願いつつ、「世界人権宣言」を出しました。その後、これに法的な拘束力を

もたせるために、人権を条約として成立させる努力がなされてきました。「障害者の権利条約」も、その一つと位置づけられます。条約とは、簡単にいえば、国と国との約束事です。この条約が発効したことにより、日本国内においても既存の法律や政令などで、条約に違反しているものは改正がされなければなりません。人権条約を飾り物にしないためにも、さまざまな検討が国内的にもはじまっていきます。

それでは、この「障害者の権利条約」とはどのような条約なのでしょう。条約の内容を見ていきましょう。まず「障害」については、本人の機能障害に着目するだけではなく、態度上および環境上の障壁との関係性に注目するとされました。WHO(世界保健機構)が提唱したICFと歩調を合わせ、いわゆる障害を個人の問題としてとらえる「医学モデル」から、社会環境を整備することを重視する「社会モデル」の考え方を取り入れた「相互モデル」になっています。社会のあり方によって「障害」の程度は大きく変化するのであり、「障害」によって差別がされるようなことはあってはならないのです。簡単にいえば、障害のない人に合わせて作られた社会の仕組みや偏見などから、「障害」は生み出されてくるのであり、障害のある人が一方的に努力をするのではなく、社会がそのための環境をつくらなければならないのです。

二つ目に、この条約には「合理的配慮」という言葉がさまざまどころに出てきます。「合理的配慮」とは、障害のある人が、障害のない人と同じように、権利や基本的自由がきちんと保障されること、不利益を得ないこと、ということになります。そのために、必要な制度や設備の変更や調整がなされなければなりません。具体的には、目の見えない人が学校に受験する場合には、点字での試験問題の準備、必要な時間の確保ということがあげられるか

と思います。また車いすの人が働く中で、その会社が自由に行き来できるバリアフリーの環境になっていることもその例でしょう。この「合理的配慮」は、実質的な機会の均等や平等と深く関わりをもっていますので、障害に基づく差別の問題も課題になってきます。差別には大きく3つ、①直接差別、②間接差別、③合理的配慮を行わないこと、があげられます。障害を理由にした直接差別については当然のことですが、間接差別には障害のない人と比べて不利益や排除を被ることなどが含まれます。また合理的配慮を行わないことも明確に禁じているのです。言い換えれば、あまりにも大きな負担がかかりすぎない限り、必ず配慮をしなければならないのです。障害のあるなしに関わらず、また障害の違いに関わらず、すべての人が社会でお互いに尊重しあいながら、暮らしていくためにも「合理的配慮」が重要になります。

条約は、全体で50条からなっています。教育あり、労働あり、自立した生活あり、障害のある人のさまざまな分野に及びます。この条約から見て、障害のない人から分離するものであったり、障害の程度や種別によって差別がされるような状況は改善されなければなりません。また同時に、この条約が障害のない人がもっている以上の権利を設けるものでもないということも大事なことです。

条約の発効により、障害があるがゆえの不平等はあってはならないことが再確認されました。それを解消していくための新しい考え方も示され、世界共通のルールになりました。国際社会の流れが、障害のある人もない人も人権の視点から改善されていくこと、日本においても国内法などに大きな影響を及ぼし、より良い方向に変わっていくことを期待しています。ぜひ皆さんも関心をもってもらいたいものです。

古本屋巡りで思うこと

看護学部 教授 上島 卿一郎

土曜日の遅い昼下がり、全ての業務や研究から開放されて溜まりに溜まったストレスを発散するために徒歩で古本屋巡りをしている。古書を漁ると云っても専門分野とは関係のない気楽なものであり、或本屋の主人に云わせると本の掃

除にきているように見えるそうである。とにかく面白そうな本を棚から取り出し埃を息で吹きはらい、服の袖で汚れをぬぐい去ってから徐に本を紐解き拾い読みし、又もとの場所に丁寧にもどすのであるから有りがたく思われるのかもしれない

い。まるで楊枝で歯をせせるようにあちらの本棚こちらの本棚と、本を引き抜き、中身を確認する。

数年前近所の JR 熱田駅まへの古本屋で映画のピラやチラシの入ったダンボールを一箱買った。店主は高額な請求をしてきたが、まずは中身を確認ということでピラ・チラシを一枚ずつ見ていたら優に二時間を超えてしまった。中腰で見ていたので腰が痛くなり後半分ぐらい残っているが、中身の破れや、汚れ、とくに血が滲んでいるような品物をみせて最初の値段より半額にしてもらい購入した。これらは市内の数十軒に及ぶ戦前の映画館のチラシやピラでありほとんどの映画館は戦災で焼失したものばかりで貴重なものと思われる。

その中で近隣の映画館数軒に関したものを取り上げてみると熱田大社鎮皇門(これも戦災で焼けた)真北に位置していた松竹直営 O 館のチラシ(O 館ウィークリー)をみると一番古いものは大正十四年六月十九日発行(第61号)になっている。番組は時代劇「電お新」松竹下鴨作品、野村芳亭監督、柳さく子、森野五郎主演であり、同時上映に大悲劇「大尉の娘」松竹キネマ蒲田作品、野村芳亭監督、藤野秀夫、柳さく子主演となっている。また次週予告編にはユニバーサル会社、連続活劇「迅雷列車」とジヤックホワイト作品「マーメイド喜劇「かつぱの親類」(漫画?)と印刷してある。邦画、洋画を一週間おきに交互に上映していたと思われる。他に解説部員、いわゆる無声映画を口頭説明する声色弁士の名前がいろは順に五名、また125号(大正十五年九月八日発行)には今週の奏楽として黄金杓(バンドの名前か?)第一バイオリン二名、第二バイオリン、フルート、クラリネット、コールネット、トロンボーン、ピアノ、セロ、三味線、鳴物等、各一名ずつ演奏者の名前が入っており生演奏で名場面を盛り上げたらしい。

さらに189号(昭和二年十一月十五日発行)には女優募集の記事が隅に小さく黒枠で囲ってある。”マキノ中部プロダクション撮影所 南区道徳新田、学歴不問、十七〜二十一才まで、経験の有無不問、スポーツ等趣味有る方を歓迎、両親の承諾を要す。希望者は O 館事務所へご来談を乞う。”と印刷してある。関東大震災(大正十二年九月一日)以降、東京にあつた映画撮影所は製作活動の拠点を失い、あ

るものは京都や大阪に撮影の場を移し、マキノ・プロダクションはここ名古屋に拠点を移したのであろう。しかし当時は広大な干拓地であり、戦前の空中写真から判断すると山崎川が東より南方向に大きく蛇行し、港に向って流れていて、その土手の近辺は黒っぽい沼地で沢山の材木が浮かんでいる。また駅よりの方面は人家がかなり見られるが大部分は干拓したあとの畑や空き地のようなものである。こんな辺鄙な場所では撮影に適さないであろう。しかし昭和二年の二月中旬に「実録忠臣蔵」の松の廊下のセット撮影を市民公開で行ったそうで、さらに赤穂城明渡しの場面もここで撮影された。だが資料によると翌年(昭和三年三月)牧野省三総監督が京都の自宅で忠臣蔵のネガフィルムを編集集中に火の不始末からネガに引火し自宅もろともネガの大部分を焼失したらしい。O 館のチラシ「実録忠臣蔵」には残念ながら日付が入っていないが、時間的におかしいと思い近所の S 館(日活直営)のチラシ(S 館ウィークリーNo.4 昭和二年一月十九日号)を見ると近日大公開として日活京都撮影所が全力を傾注せる超特作品として「忠臣蔵」原作並監督、池田富保氏、主役尾上松之助と表記してある。さらに同館ウィークリーNo.6(昭和二年一月三十一日号)には大映画「実録忠臣蔵」大監督池田富保氏、絶対的名配役として尾上松之助以下数十人の俳優が書いてあるがこの映画が上映された記録を二館の他のウィークリーから探してみたが(残念ながらチラシは大部分脱落している)残存のチラシからはそれを窺うすべもない。但し私は二十年前に名古屋の芸創センターで尾上松之助の忠臣蔵を見ている。牧野省三は監督として松之助主演の忠臣蔵を大正元年と十一年に作っているのだからこれらのフィルムと燃え残りの撮影済みフィルムと生き残ったフィルムを繋げて池田富保監督がこの映画を完成したのではないかと推測している。(尾上松之助は大正十五年五月に病死している。)これらチラシや他の古本の資料を対照して思うことは時間の矛盾や、場所の存在や、撮影スタッフ、俳優名、組織体の変遷など細かいことが更に深く追究しないと正確に記録されないことである。この資料を宝の持ち腐れにするのも有効に生かすのも資料の所有者の一存にあることを悟ったのである。

電子ジャーナルの利用方法 ～「メディカルオンライン」編～

電子ジャーナルとは

電子ジャーナルとは、雑誌論文を電子化し、Web 上で読むことができるようにしたものです。

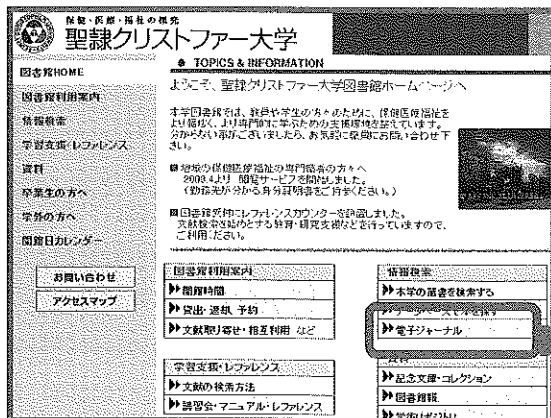
いつでも、最新号の論文をいち早く読めるなど多くのメリットがあります。

本学では、2008年12月、「メディカルオンライン」（日本語論文データベース）を導入し、約670雑誌の電子ジャーナルが利用できるようになりました。

■雑誌と比較した、電子ジャーナルのメリット

- ・図書館の開館時間にかかわらず、学内にあるパソコンから、いつでも読むことができます。
- ・1人だけでなく、複数名が同じ雑誌を同時に読むことができます。
- ・最新号の論文をいち早く読むことができます。（バックナンバーも見ることができます。）
- ・論文の引用文献や、関連文献へのリンクなど、リンク機能が充実しています。

本学で提供している電子ジャーナル



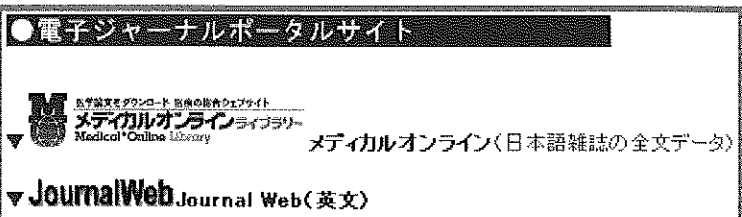
大学図書館ホームページ

<http://collib.seirei.ac.jp/>

大学図書館 HP>「電子ジャーナル」にアクセスすると、「メディカルオンライン」と「Journal Web」、2つのデータベースが現れます。

「電子ジャーナル」トップページ

<http://collib.seirei.ac.jp/index8.html>



■日本語：「メディカルオンライン」（2008年12月導入）

医学、看護学、医療技術、公衆衛生学などの分野、約670雑誌を収録している電子ジャーナル。アブストラクト(抄録)や、論文の全文データをPDFで見ることができます。

■英語：「Journal Web」（2008年6月導入）

英文雑誌購入者向けの無料電子ジャーナルポータル。本学で購入している英文雑誌のうち、66雑誌のアブストラクトや、電子ジャーナル(一部)を見ることができます。


「電子ジャーナル」を利用するには ～メディカルオンラインの場合～

●電子ジャーナルへのアクセス方法は、以下の2つとなります。

(注)電子ジャーナルは、大学内のパソコンからのみ利用できます。

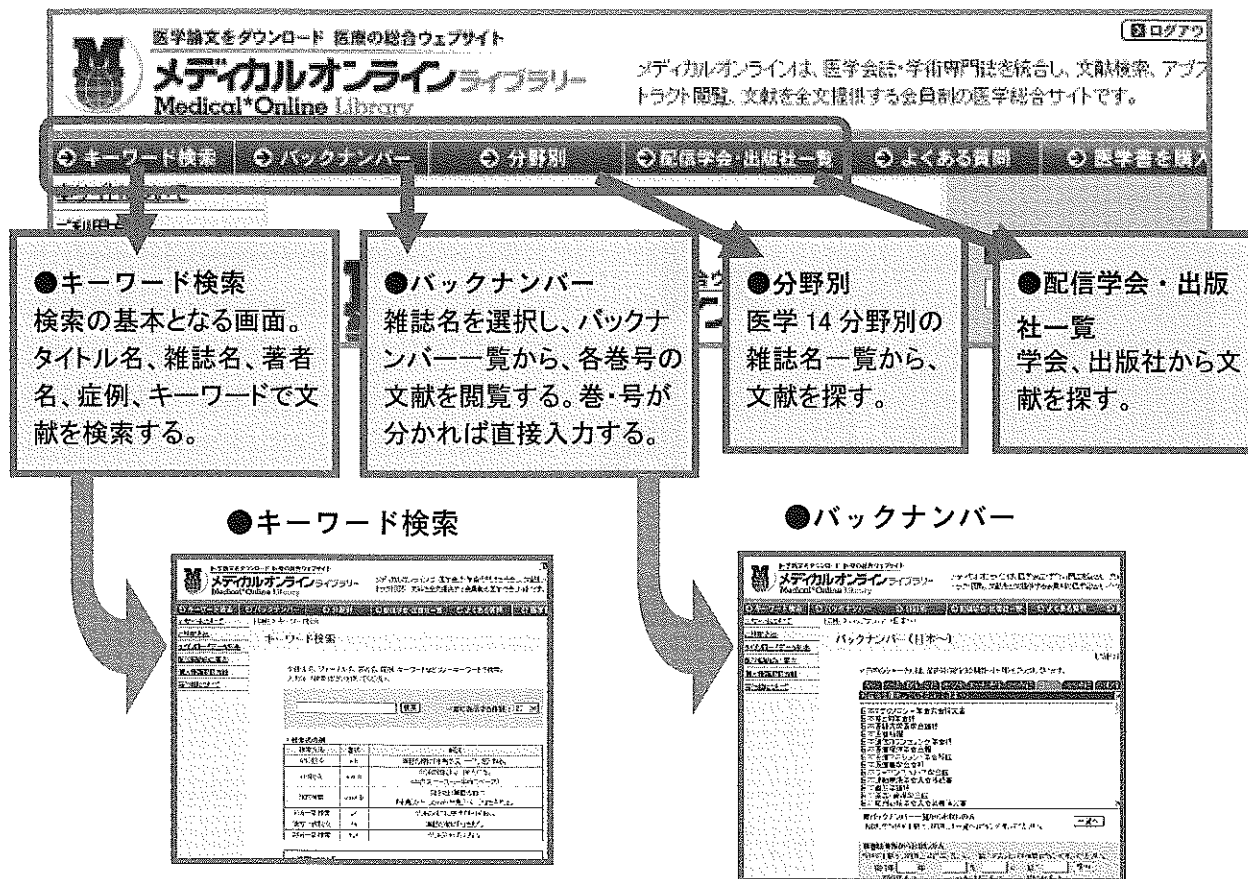
方法1：「メディカルオンライン」データベースで、電子ジャーナルを探す。

- 1.大学図書館 HP>電子ジャーナル>「メディカルオンライン」をクリック。
- 2.雑誌のタイトルやキーワード検索などで、読みたい論文を探して、電子ジャーナルにアクセスする。

方法2：「医中誌 Web」の検索結果に現れた、リンクボタン  をクリックし、直接電子ジャーナルにアクセスする。

「メディカルオンライン」での検索方法

●「メディカルオンライン」、ポータルページで、いずれかの検索方法を選びます。



The screenshot shows the homepage of the Medical*Online Library. At the top, there are navigation tabs: キーワード検索 (Keyword Search), バックナンバー (Back Number), 分野別 (By Field), 配信学会・出版社一覧 (List of Publishing Societies/Publishers), よくある質問 (FAQ), and 医学書も購入 (Purchase Medical Books). Below these tabs are four callout boxes explaining the search methods:

- キーワード検索**
検索の基本となる画面。タイトル名、雑誌名、著者名、症例、キーワードで文献を検索する。
- バックナンバー**
雑誌名を選択し、バックナンバー一覧から、各巻号の文献を閲覧する。巻・号が分かれば直接入力する。
- 分野別**
医学 14 分野別の雑誌名一覧から、文献を探す。
- 配信学会・出版社一覧**
学会、出版社から文献を探す。

Below the callouts are two detailed screenshots:

- キーワード検索**: Shows the search interface with a search box and a list of search results.
- バックナンバー**: Shows the back number search interface with a dropdown menu for journal selection and a list of back numbers.

■以下、「キーワード検索」を例に、基本的な検索の流れを説明します。

1. 上記、「キーワード検索」タブをクリックします。
2. キーワード入力ボックスに、キーワードを入力します。
*タイトル名、雑誌名、著者名、症例、フリーキーワードで検索できます。
3. 検索ボタンをクリックすると、検索結果が現れます。
4. 検索結果から、希望する文献のリンクをクリックして、アブストラクトや全文を見ます。

メディカルオンライン収録雑誌について

●分野別検索タブを選択すると、下記の分野ごとに、収録誌名一覧を見ることができます。

■収録分野(14分野、670雑誌)

医学総合	基礎医学・関連科学	臨床医学:一般
臨床医学:内科系	臨床医学:外科系	医学一般
公衆衛生学	医療技術	看護学
保健・体育	栄養学	歯科学
薬学	自然科学ほか	

電子ジャーナル利用のルール

●電子ジャーナルの利用にあたっては、供給元の出版社が使用許諾条件を定めています。

どの出版社においても、おおむね以下の事項は禁止されています。

■機械的な大量のダウンロード、および特定の雑誌を大量にダウンロードすること

■個人的な研究・教育目的以外の利用

■データを複製、改編すること

■他者にデータを配布・送信・転売等すること

*使用許諾条件に違反した場合、大学全体の利用制限等のペナルティが科せられますので、ルールを遵守し、利用してください。

●図書館ホームページでは、電子ジャーナルの使い方に関すること、また、論文・レポートを書くための、「文献の調べ方、集め方」などに関する情報や、マニュアルを提供しています。

●質問は、図書館レファレンスカウンターに直接お越しいただくか、メールにてお問い合わせください。

図書館報 第7号/発行・聖隷クリストファー大学図書館/2009年3月1日

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町 3453/TEL:053-439-1416/FAX:053-414-1146
E-mail: cl-library@admin.seirei.ac.jp 図書館ホームページ URL: <http://collib.seirei.ac.jp/>